

令和4年度シラバス

教科	科目	単位数	履修学年・クラス
商業	簿記	3	2-2、2-3

1. 学習の到達目標

- ・経営活動に伴う取引を正確、明瞭に記録・計算・整理するための知識と技術を習得させる。
- ・簿記検定3級の取得を目標とする。

2. 学習の計画

	学 習 内 容	学 習 の ね ら い
1 学 期	[簿記の基礎] 1. 簿記の基礎 2. 資産・負債・資本と貸借対照表 3. 収益・費用と損益計算書 4. 取引と勘定 5. 仕訳と転記 6. 仕訳帳と総勘定元帳	<ul style="list-style-type: none"> ・簿記の意味・役割を明らかにして、記帳の重要性を理解させる。 ・資産・負債・資本の意味を明らかにし、これらの相互関係を理解させる。 ・簿記上の取引の意味を理解させる。 ・貸借平均の原理を理解させる。 ・仕訳帳の形式・記入法を理解させる。
2 学 期	7. 試算表 8. 精算表 9. 決算 [取引の記帳] 10. 現金・預金などの取引 11. 商品売買の取引 12. 掛け取引 13. 手形の取引 14. 有価証券の取引 15. その他の債権・債務の取引	<ul style="list-style-type: none"> ・試算表・精算表の役割を明らかにして、その作り方に習熟させる。 ・決算の意味・必要性・重要性について理解させる。 ・現金に関する記帳方法を理解させる。 ・3分法による記帳方法を理解させる。 ・掛け取引の意味を明らかにする。 ・手形記入帳の役割と記帳方法を理解させる。 ・有価証券の意味と計算の仕方を理解させる。 ・各種の債権・債務の記帳に習熟させる。
3 学 期	16. 固定資産の取引 17. 個人企業の資本と税金 18. 営業費の取引 21. 3伝票 [決算] 決算整理	<ul style="list-style-type: none"> ・固定資産台帳の意味・役割を明らかにする。 ・資本の元入れ引き出しなどを理解させる。 ・営業費の意味と記帳方法を理解させる。 ・決算整理の意味とその必要性を理解させる。

3. 評価方法・評価の観点

評価方法	考査による評価、提出物等授業態度による
------	---------------------

評価の観点	関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	知識・理解
評価の内容	商業に関する諸問題について関心を持ち、その改善・向上を目指して意欲的に取り組むとともに、実践的な態度を身に付けている。	商業に関する諸問題の解決を目指して思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断し、創意工夫する能力を身に付けている。	商業の各分野に関する基礎的・基本的な技術を身に付け、実際の仕事を合理的に計画し、適切に処理するとともに、その成果を的確に表現する。	商業の各分野に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、商業の意義や役割を理解している。

4. 使用教科書・副教材

使用教科書	新簿記 (実教出版)
副教材	最新段階式 簿記検定問題集 全商3級 (実教出版)